

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日			
そらのしっぽ		令和8年2月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	部屋が複数あり、スペースも広い 多動児と重心児と一緒に過ごすことがあるのでリスクが高いときがある	利用者が安心して過ごすことができるよう、ひとりひとりに目や手が行き届くように心がけています。リスクがある場合は2Fのスペースを活用していきます
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	玄関や外階段にスロープがない 見守るスタッフの目が養われていない	構造上難しいため、車いすは移動式スロープを使い、職員が2名体制で介助するようにしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		135m ² のスペースがあり、1Fと2Fを使用していますが、再度、職員間で改善していきたいと思います。1Fはバリアフリーでクッション性のマットを引いて安全対策をしています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		加湿器等が準備され、換気もできている	加湿器3台と空気清浄機2台を設置中ですが、引き続き環境調整を継続していきます
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			部屋の数とスペースはありますので、職員間で計画と連携をしながら使用してください
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	全くPDCAサイクルが機能していない	パート職員さんに周知できていないことがあります。日誌への記録をしっかりと行い、周知していきます
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		今回初めての評価を頂きましたので、早期に改善していきます
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		曖昧にしていることがあり、子どものリスクにつながることもある	朝のミーティングで意見交換と業務改善を行うようにしていますが、その都度意見を出していきます
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		外部評価ができていないので、今後検討していきます
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			定期的に研修を実施していますが、パート職員さんが参加できないことがありました。2日に分ける等の対応を検討します
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		ホームページに公表しています
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		標準化したシートと日々の記録を参考にしながら計画を立てるようになっています
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		活動種目がすくない	午前は個別中心で午後は集団活動を実施するプログラムを実施しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1			多職種が多いので打合せができていないことがあります。今後は、朝のミーティングで打合せするようにします
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3			送迎に時間がかかり退勤時間を超えた場合、職員がそろわず、振り返りが上手く行えない場合があります
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				日々の記録は日誌や必要に応じて別紙記載していますが、長期休み等で支援時間が長い際などに記録が遅れてしまうことがあるため速やかな記録と共有、改善を図りたいと思います
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1			サービス管理責任者が管理者が出席しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1			関係機関や保育所等と情報交換はできるが、連携までは繋がっていないため、対応を検討します
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6			移行についてのやり取りがあまりできていない。今後関わる機会を増やして対応していきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6				今のところ助言をうけていませんが、困難事例等を含め、療育センターの派遣を検討していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3			今年度中に他の放デイと夏祭りを検討しています。日にちがあえば、地域のポッチャ大会の参加も検討しています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1			送迎時に様子等をしっかりと伝えるようにしています。またLINEで連絡をとれる体制があります。必要に応じて個別の面談も実施しています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2			性教育の研修を実施しましたが、参加家族は1名でした。定期的に研修を実施して参加が増えるような企画を行います
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1			契約時に説明するようにしています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				アセスメントとサービス利用計画、個別支援計画がつながるように作成しています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				同意を得ています

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			定期的にはできていないこともありますが、相談があった時はすくに対応するようにしています
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		地域のイベント等の情報提供はしているが、参加される家族は少ない。今後は、バーベキュー大会を計画をしています
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			管理者とサービス管理責任者が対応しています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSが活用できている	Instagramで日々の様子を発信し、LINEを使用している連絡体制、行事については活動予定表を配布しています
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		地域のイベント等で、事業内容を発信していますが、まだまだ周知に関してはできていないと思いますので継続していきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			玄関に設置していますが、家族が目にするのがほとんどないので、対応を考えます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			避難訓練は年に2回実施しました。医療ケア児を含む問題がたくさんありましたので改善していきます。地域との連携も大切と感じたので計画的に訓練を実施していきます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		看護師が常駐している	受付時の情報や看護師が内服等の確認をおこなっています
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			受付時の情報や医師の指示書に基づいて対応しています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		研修後に入職した職員については、安全計画についての説明ができていないので、4月に行います
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		シールを貼って注意喚起ができています	共有できていると思いますが、パート職員を含め、日誌等にも記載するようにします
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		できている	研修を実施しました
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			身体拘束の前例がないため、計画には記載していません	